

2023 年度 一般入学試験 前期日程 (2月1日)

地理歴史・公民・理科

〔世界史 B, 日本史 B, 政治・経済〕
〔物理基礎・化学基礎・生物基礎〕

(試験時間 60分)

この問題冊子には、「世界史 B」「日本史 B」「政治・経済」の3科目及び「理科 (物理基礎・化学基礎・生物基礎)」を掲載しています。解答する科目を間違えないように選択しなさい。

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
- 3 この問題冊子は、127ページあります。出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目		ペ ー ジ	選 択 方 法
地理 歴史 ・ 公民	世界史 B	4 ~ 29	左の3科目のうち1科目を選択して解答する。
	日本史 B	30 ~ 57	
	政治・経済	58 ~ 83	
理科	物理基礎・化学基礎・ 生物基礎	85 ~ 127	試験時間内に左の3科目のうち2科目を選択して解答する。

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 「地理歴史・公民」の科目を選択する者は「地理歴史・公民解答用紙」を、「理科」の科目を選択する者は「理科解答用紙」を使用しなさい。

「理科」は解答用紙1枚で2科目を解答します。解答の順番は問いません。解答時間(60分)の配分は自由です。

裏表紙へ続く、裏表紙も必ず読むこと。

6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目名の右の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

9 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

日本史 B

(解答番号 ~)

第1問 次の文章A・史料Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 約1万年余り前に、地質学でいう の時代に移行すると、^㉑自然環境が大きく変化し、日本列島では縄文文化が成立した。縄文時代の人々は、アニミズムに影響された生活を営み、^㉒埋葬の儀礼も含め、様々な呪術的風習が生まれたと考えられている。弥生時代には、稲作などの生産活動が本格化するなかで身分差が現れるようになり、大型の土器を棺として利用した に、^㉓銅剣や銅鏡などの青銅製の副葬品が見られるようになった。

その後、大和地方を中心とする広域の政治連合が形成され、古墳が出現した。そして5世紀には、大王を中心としたヤマト政権の支配領域が拡大し、古墳も巨大化した。しかし、^㉔5世紀後半から6世紀になると、有力農民層の成長を背景として、古墳のあり方は大きく変化していった。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 完新世 イ 土壙墓
- ② ア 完新世 イ 甕棺墓
- ③ ア 更新世 イ 土壙墓
- ④ ア 更新世 イ 甕棺墓

問2 下線部⑤に関連して、縄文時代の頃の自然環境の変化に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

2

- a 気候が温暖化したことで、海面が大きく上昇した。
- b 西日本に、ブナやナラなどの落葉広葉樹林が広がった。
- c ニホンシカやイノシシなどの、中小動物が多く見られるようになった。
- d ナウマンゾウやマンモスなどの、大型動物が多く見られるようになった。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問3 下線部⑥に関連して、縄文時代の呪術的風習に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

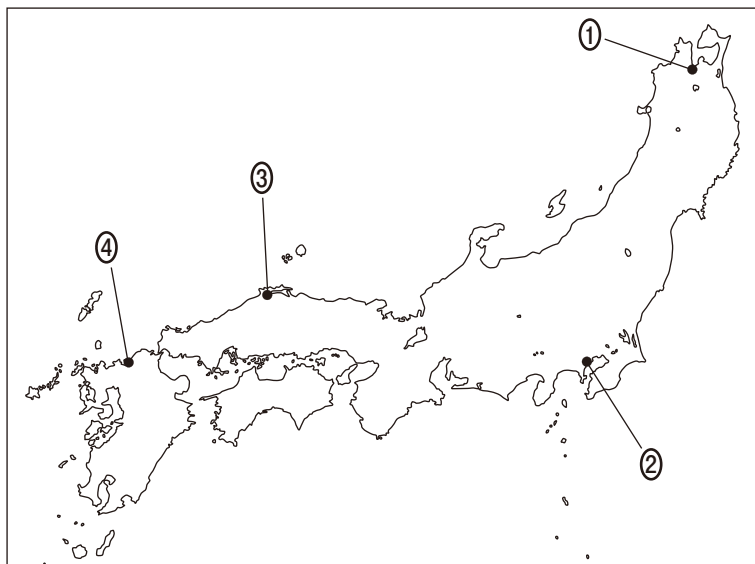
3

- X 死者の多くは手足を強く折り曲げて葬られていたが、これは死者の霊が生者に災いをおよぼすことを防ぐためなどと考えられている。
- Y 裁判に際して、熱湯に手を入れさせて火傷の有無により真偽を判断する盟神探湯が行われた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
 ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

日本史 B

問 4 下線部㉓に関連して、358本もの銅剣が発見された荒神谷遺跡の所在地として正しいものを、次の地図中の①～④のうちから一つ選べ。 4



問 5 下線部㉔に関連して、古墳時代後期の古墳に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 埋葬施設は、いつでも追葬可能な横穴式石室が一般化した。
- ② 一定地域内に小規模な古墳が密集して築かれる群集墳が増加した。
- ③ 石人や石馬、装飾古墳が見られるなど、地域的な特色が強くなった。
- ④ 銅鏡や勾玉などの、呪術的な色彩の強い副葬品が多くなった。

B 十二月六日、南風起る。第一舟石に著きて動かず。第二舟発ち、㊦多禰嶋(注1)に向ひて去く。七日、益救嶋(注2)に至る。十八日、益救より発つ。十九日、風雨大いに発り、四方を知らず。午時、浪上に山頂を見る。廿日乙酉午時、第二舟薩摩国阿多郡秋妻屋浦(注3)に著く。廿六日辛卯、延慶師和上を引いて大宰府に入る。(中略)天平勝宝六年(注4)、京に入る。(中略)勅使正位下㊦吉備朝臣真備来り。口づから詔して曰く、(中略)「㊧朕(注5)此の東大寺を造りて十余年を経、戒壇を立てて伝受せんと欲す。自ら此の心有りて日夜忘れず、今諸大徳遠く来りて戒を伝ふ。冥く朕の心に契ふ。今より以後、戒を授け律を伝ふこと、一上和上に任ねむ」と。

(『唐大和上東征伝』)

(注1) 多禰嶋：種子島。

(注2) 益救嶋：屋久島。

(注3) 阿多郡秋妻屋浦：現在の鹿児島県川辺郡付近の海岸と考えられる。

(注4) 天平勝宝六年：754年。

(注5) 朕：天皇の自称。ここでは聖武天皇のこと。

問6 史料Bに関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下線部㊦を参考にして、下の①～④のうちから一つ選べ。 6

X 史料Bの時代の遣唐使の航路は、九州から島づたいに南下して、その後に東シナ海を横断するルートであったと考えられる。

Y 史料Bは鑑真が来日する様子を記したもので、彼は、日本に戒律を伝え、東大寺に戒壇をつくった。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史 B

問7 下線部①の人物が政治に参画していた時期の政策や出来事に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 7

X この法は、政府の土地支配の強化を目的として出され、結果として初期荘園の成立を促した。

Y この人物は、政権に重用されていた吉備真備や玄昉の排斥を求めて、九州で挙兵した。

a 三世一身法

b 墾田永年私財法

c 藤原仲麻呂

d 藤原広嗣

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

問8 下線部⑧に関連して、古代の仏教に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

8

I インド僧や中国僧も招き、大仏の開眼供養の儀式が行われた。

II 定朝が寄木造の手法を完成させ、仏像の大量生産が可能となった。

III 天皇が皇后の病気の平癒を祈って、薬師寺を創建した。

① I — II — III

② I — III — II

③ II — I — III

④ II — III — I

⑤ III — I — II

⑥ III — II — I

問9 史料Bに関連して、8世紀に起きた出来事に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① 藤原不比等の子で聖武天皇の皇后である光明子が、施薬院を設けた。
- ② 唐にならって、本朝十二銭の最初となる乾元大宝が鑄造された。
- ③ 山部赤人が詠んだ貧窮問答歌などの長歌を含む『万葉集』が成立した。
- ④ 造長岡宮使の藤原仲成の暗殺などもあり、長岡京から平安京に遷都した。

第2問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 1219年に、鎌倉幕府の将軍であった①源実朝が、鶴岡八幡宮で公暁により暗殺されると、源頼朝から続く源氏の正統は3代で断絶した。幕府は後任の将軍を皇族から招こうと交渉したが不調に終わったため、摂関家出身の人物を鎌倉に迎え、②北条泰時が執権に就いていた1226年に、将軍に就任させた。こうした摂関家出身の将軍を摂家将軍という。

1252年になると、北条氏討伐の陰謀に関係したとして③摂家将軍は廃され、幕府は新たに皇族を将軍に招いて、念願であった皇族将軍を実現した。皇族将軍は、④幕府が滅亡するまで4代続いたが、いずれも実権をもたない名目だけの将軍であった。

問1 下線部③に関連して、源実朝の死後に起こった争乱に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① 北条義時の謀略により、侍所別当であった和田義盛が挙兵し、戦闘の末に敗死した。
- ② かつて将軍の外戚として権勢をふるった比企能員が、北条義時の討伐を計画したが失敗し、殺害された。
- ③ 朝幕関係が不安定になり、後鳥羽上皇が北条義時追討の院宣を発して、承久の乱が勃発した。
- ④ 北条義時は、金や馬などの産物によって富を築いた奥州藤原氏を討伐するため兵を東北に派遣した。

問2 下線部⑥の人物が行ったことに関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

11

X 執権を補佐するこの役職を新たに設けて、北条時房を任命した。

Y 幕府の政務などを合議するために11名を選び、この役職に任命した。

a 連署 b 管領 c 評定衆 d 引付衆

① X — a Y — c ② X — a Y — d

③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問3 下線部③に関連して、摂家将軍と皇族将軍に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

12

X 摂家将軍は、源頼朝の遠縁にあたる藤原頼経が迎えられて始まった。

Y 皇族将軍は、執権北条時頼によって、宗尊親王が迎えられて始まった。

① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

日本史 B

問 4 下線部④に関連して、鎌倉幕府の滅亡前後の出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

- Ⅰ 京都の二条に近い鴨川の河原に、当時の政権の混乱ぶりを風刺した落書きが掲げられた。
- Ⅱ 幕府の有力御家人であった足利高氏（のち尊氏）が、六波羅探題を攻め落とした。
- Ⅲ 後醍醐天皇が討幕計画を立てたが、密告により露見し、側近の日野氏らが処罰された。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

B 15世紀初期まで、琉球では山北・中山・山南の3勢力(三山)が覇権を争っていたが、中山王の **ア** が三山を統一し、^㉔1429年に琉球王国を建国した。琉球王国は、貿易船を東南アジア一帯まで航行させ、東シナ海の地の利を生かして^㉕明・日本・朝鮮などの国々との間で中継貿易をさかんに行った。重要な交易港となった那覇には各国の特産品がもたらされ、琉球王国は繁栄した。

北方では、畿内と津軽の十三湊とを結ぶ日本海交易が14世紀にはすでに行われており、**イ** などの産物が京都に送られた。^㉖14世紀から15世紀にかけての商工業の発展を背景に、本州の人々は新たな交易を求め、蝦夷ヶ島と呼ばれる北海道南部に進出していった。彼らは和人と呼ばれ、アイヌと交易を行ったが、^㉗勢力を拡大する和人とアイヌの間にはしばしば衝突が生じた。

問5 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **14**

- ① ア 尚 泰 イ 米・酒
- ② ア 尚 泰 イ 鮭・昆布
- ③ ア 尚巴志 イ 米・酒
- ④ ア 尚巴志 イ 鮭・昆布

日本史 B

問 6 下線部㉔に関連して、同年に起こった出来事に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 鎌倉公方の足利成氏が関東管領を謀殺したことをきっかけとして、享徳の乱が起こった。
- ② 京都の北山に金閣が建立されたほか、官寺に序列をつける五山・十刹の制が完成した。
- ③ 播磨国で、守護軍の退去を求めた土一揆が勃発したが、赤松満祐によって鎮圧された。
- ④ 天文法華の乱が起こり、延暦寺の僧兵に敗れた法華宗徒が京都の町から追放された。

問 7 下線部㉕に関連して、明および日明貿易に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

- a 明は、朱元璋が元を倒して建国した満州人による王朝である。
- b 明は、海禁政策をとり、外国との取引を朝貢貿易に限定した。
- c 日明貿易をめぐる、寧波で細川氏と大内氏が争い、大内氏が勝利した。
- d 日明貿易で栄えた堺は、年行事と呼ばれる豪商の合議で市政が運営された。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 8 下線部⑧に関連して、次の史料は14世紀末に出された座に関する文書である。この史料および座に関して述べた文として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 17

史料

石清水八幡宮大山崎神人等、公事(注1)并に土倉役の事、免除せらるる所なり。
 将又(注2)摂州道祖小路・天王寺・木村・住吉・遠里小野并に江州小秋(注3)散
 財の土民等、恣に荏胡麻(注4)を売買せしむと云々。向後(注4)彼の油器(注5)を
 破却すべきの由、仰せ下さるる所なり。仍て下知件の如し。

応永四年五月廿六日

沙弥(注6)(花押)

(『離宮八幡宮文書』)

- (注1) 公事：年貢以外の雑税。
 (注2) 将又：なおまた。
 (注3) 摂州道祖小路…江州小秋：いずれも現在の大阪府・滋賀県にあたる地域の地名。
 (注4) 向後：今後。
 (注5) 油器：荏胡麻の実を絞る道具。
 (注6) 沙弥：斯波義将。

- ① 史料から、大山崎の油座が、幕府によって税の一部を免除される特権を得ていたことがわかる。
 ② 史料から、大山崎の油座が求めていた同業者の営業停止処分は認められず、訴えが却下されたことがわかる。
 ③ 座は商工業者の同業組合で、公家や寺社を本所と仰ぎ、その権威を利用することで特権を認められた。
 ④ 座の特権は、座に加わらない新興商人の出現や戦国大名が楽市令を出したことにより失われていった。

日本史 B

問 9 下線部⑥に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 18

X 和人が北海道南部の海岸につくった 12 の城館群は道南十二館と呼ばれ、これらを中心に居住地が形成された。

Y 15 世紀中頃に、アイヌは首長のシャクシャインを中心に蜂起したが、津軽の安藤氏によって制圧された。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

(下書き用紙)

日本史Bの試験問題は次に続く。

第3問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A ①豊臣秀吉による朝鮮出兵以降、中世から継続されていた朝鮮との国交は断絶していたが、②江戸幕府を開いた徳川家康は、対馬藩主宗氏の尽力もあり、1607年に朝鮮との国交回復を実現した。1609年、宗氏は朝鮮との間に を締結し、釜山に設置された倭館で朝鮮との貿易を行った。

また、将軍の代替わりごとに朝鮮から が来日するようになり、幕府はそれを厚遇した。使節たちは江戸城内で歓待を受け、将軍に謁見して国書の交換を行った。使節団は毎回総勢400～500人の規模で、なかには著名な儒者も含まれており、③日本の知識人との面会の機会がもたれるなど、その来日は日朝間の文化交流の場となった。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 癸亥約条 イ 謝恩使
- ② ア 癸亥約条 イ 通信使
- ③ ア 己酉約条 イ 謝恩使
- ④ ア 己酉約条 イ 通信使

問2 下線部㉔に関連して、豊臣秀吉が推進した政策に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 一揆の防止や農民を農業に専念させることを目的に、方広寺の大仏鑄造を口実とした刀狩を命じた。
- ② 太閤検地を実施した結果、大名が支配する領国の貫高に見合った軍役を奉仕する体制を創出した。
- ③ 後陽成天皇を聚楽第に歓待したのを機会に、諸大名に天皇と秀吉への忠誠を誓わせた。
- ④ 倭寇などの海賊行為を禁止するために、海賊取締令を發布して海上の支配を強化した。

問3 下線部㉕に関連して、江戸幕府の成立前後の出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 21

- Ⅰ 石田三成と徳川家康の対立が表面化し、関ヶ原の戦いが勃発した。
- Ⅱ 徳川家康は、大坂の冬の陣、夏の陣により豊臣氏を滅亡に追い込んだ。
- Ⅲ 方広寺の鐘銘にあった「国家安康」「君臣豊楽」の部分が、政治問題化した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史 B

問 4 下線部㉔に関連して、江戸時代の日本の知識人に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 22

- a 荷田春満は、賀茂真淵から国学を学び、復古神道を唱えた。
- b 稲村三伯は、蘭日辞書である『ハルマ和解』をつくった。
- c 富永仲基は、『夢の代』を著して儒教や仏教を批判した。
- d 吉田光由は、『塵劫記』を著して和算の普及に貢献した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

B 江戸幕府は、^④幕藩体制の基盤を整備する過程で、朝廷に対しても禁中並公家諸法度を発布して統制の方針を明確にした。こうした幕府の姿勢に対する朝廷側の反発もあり、1629年には紫衣着用の勅許をめぐる事件をきっかけに が退位するなど、朝幕関係は緊迫化した。

しかし、^⑤17世紀中頃から幕府はそれまでの強圧的な武断政治を改め、儒教的徳治主義にもとづく文治政治に転換し、将軍の権威を高めるために朝廷との協調をはかるようになった。たとえば、5代将軍の徳川綱吉は、禁裏御料を増やしたほか、大嘗祭や賀茂葵祭を再興するなど、朝廷に対して融和的な政策を進めた。

^⑥こうした協調関係は衝突はありながらも続いたが、江戸時代後期になると幕府の弱体化にともなって、これにかわる上位の権威として朝廷が意識されるようになった。やがて、^⑧条約調印をめぐる勅許の問題などにより朝幕関係が悪化したため、幕府は孝明天皇の妹である和宮を将軍 の妻に迎えるなどの公武合体の政策をとり、融和につとめた。

問5 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウ 後水尾天皇 エ 徳川慶喜
- ② ウ 後水尾天皇 エ 徳川家茂
- ③ ウ 明正天皇 エ 徳川慶喜
- ④ ウ 明正天皇 エ 徳川家茂

日本史 B

問 6 下線部④に関連して、次の史料は農民の統制を目的に発布された法令の一部である。この史料に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

史料

一 身上(注1)能き百姓は田地を買取り、弥宜く成り、身躰成らざる者(注2)は田畠沽却(注3)せしめ、猶々身上成るべからざるの間、向後(注4)田畠売買停止為るべき事。
寛永二十年(注5)末三月

(『御触書寛保集成』)

- (注1) 身上：暮らし向き。
(注2) 身躰成らざる者：家計の苦しい者。
(注3) 沽却：売却。
(注4) 向後：今後。
(注5) 寛永二十年：1643年。

X この法令では、一定の大きさ以上の土地でない限り、土地の分割を禁止することを命じている。

Y こうした細かな規制は、幕府の収入の根幹である年貢を負担する本百姓の没落を防ぐことが目的であった。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問7 下線部㉔に関連して、こうした幕府の方針転換に合わせて17世紀後半を中心に諸藩も藩政改革を行ったが、それに関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 岡山藩では、郷校として閑谷学校を創設して庶民の入学を許した。
- ② 加賀藩では、朱子学者の木下順庵を招いて学問の振興をはかった。
- ③ 熊本藩では、垂加神道を創始した山崎闇斎を藩政に参画させた。
- ④ 水戸藩では、明から亡命してきた朱舜水を招いて学事にあたらせた。

問8 下線部㉕に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 26

- X 国学者の竹内式部が京都の公家に尊王論を説いたため追放処分になった。
 Y 尊号一件の対処をめぐり対立したため、徳川家斉がこの老中を解任した。

a 宝暦事件 b 明和事件 c 松平定信 d 水野忠邦

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
- ③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問9 下線部㉖に関連して、幕末期の条約調印に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

- a 日米和親条約締結後、清国でアヘン戦争が起き、南京条約が結ばれた。
- b 日露和親条約では、樺太については境界を定めないことを約定した。
- c 老中の堀田正睦は、勅許を得られないまま日米修好通商条約に調印した。
- d 日米修好通商条約では、居留地を設け、一般外国人の国内旅行を制限した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

第4問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 明治政府は、不平等条約の改正を実現するために、近代国家としての体制整備を推進したが、そうした政策は、[Ⓐ]自由民権運動を展開する民権派の動向に大きな影響を与えた。1880年代前半、[Ⓑ]政府の経済政策によって生じていた農村の窮迫なども背景となり、**ア**などの一連の激化事件が起こったため、民権運動は一時衰退していた。しかし、1887年、条約改正案に対する反対運動に端を発し、片岡健吉ら民権派が[Ⓒ]三大事件建白運動を展開するなどしたため、勢いは再び強まり、勢力の結集をはかる動きも活発化した。これに対して政府は**イ**を發布して、民権運動を弾圧しつつ、[Ⓓ]憲法制定に向けての準備を加速させていった。

問1 空欄**ア** **イ**に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。**28**

- ① ア 大津事件 イ 集会条例
- ② ア 大津事件 イ 保安条例
- ③ ア 秩父事件 イ 集会条例
- ④ ア 秩父事件 イ 保安条例

問 2 下線部④に関連して、次の史料は1874年に左院に提出された建白書の一部である。この史料に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 29

史料

臣等伏シテ方今政権ノ帰スル所ヲ察スルニ、上帝室ニ在ラス、下人民ニ在ラス、而シテ独り有司(注1)ニ帰ス。(中略)而モ政令百端(注2)、朝出暮改(注3)、政刑情実ニ成リ(注4)、賞罰愛憎ニ出ツ、言路壅蔽(注5)困苦告ルナシ。(中略)臣等愛國ノ情自ラ已ム能ハス。乃チ之ヲ振救スルノ道ヲ講求スルニ、唯天下ノ公議ヲ張ルニ在ル而已。天下ノ公議ヲ張ルハ、民撰議院ヲ立ルニ在ル而已。

『日新真事誌』

- (注1) 有司：官僚のことで、政府を指導していた人物らをさす。
 (注2) 政令百端：法律や命令などが多い。
 (注3) 朝出暮改：方針が朝夕で変わるなど一定しない。
 (注4) 政刑情実ニ成リ：政策や刑罰が私情で行われ不公平である。
 (注5) 言路壅蔽：言論の道が閉ざされている。

X 史料中にある「臣等」とは建白書に署名したメンバーのことをさし、板垣退助や大久保利通などが含まれる。

Y この建白書が出されたのち、佐賀の乱や秋月の乱などの不平士族の反乱が起こった。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

日本史 B

問 3 下線部㉔に関連して、明治期の経済に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

30

- Ⅰ 鉄道や紡績を中心とした会社設立ブームが起き、資本主義が本格的に整うための素地が醸成された。
- Ⅱ 国立銀行条例の改正によって兌換義務が取り除かれたため、国立銀行が次々に設立され、不換銀行券が発行された。
- Ⅲ 大蔵卿の松方正義が増税と歳出削減を進め、日本銀行の設立などによって銀本位制も整備された。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 4 下線部㉔に関連して、「三大事件」をさす三つの要求の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 地租の軽減、経費の節減、外交失策の回復
- ② 地租の軽減、言論・集会の自由、外交失策の回復
- ③ 国会の開設、言論・集会の自由、華族制度の改革
- ④ 国会の開設、経費の節減、華族制度の改革

問5 下線部①に関連して、大日本帝国憲法とその内容に関して述べた次の文
a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

32

- a 大日本帝国憲法は、1889年、第1次伊藤博文内閣時に公布された。
- b 大日本帝国憲法は、天皇が定めて国民に下し与える欽定憲法であった。
- c 陸海軍の統帥権は、内閣も関与できない天皇の大権とされた。
- d 臣民とされた国民には、信教や集会・結社の自由は認められなかった。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史 B

B 1912年、憲法学者の美濃部達吉は著書『憲法講話』において、天皇機関説を発表した。法人としての国家が統治権の主体であり、天皇は国家の最高機関として憲法の条規に従って統治権を行使するというこの学説は、政党政治の実現を目指す⑤大正デモクラシーの理論的支柱となった。

1930年代に入ると、浜口雄幸内閣が実施した にともなう未曾有の経済的危機に陥るなかで、⑥満州事変とそれに関わる軍の動きを国民は熱狂的に支持した。こうした状況を受けて、⑦国家改造運動が活発化し、天皇機関説は国体に反する学説として攻撃されるようになった。

1935年には、陸軍や在郷軍人会などによって天皇機関説を排撃する運動が全国的に展開されたため、 内閣は天皇機関説を否認する国体明徴声明を出した。

問6 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウ 金輸出解禁 エ 岡田啓介
- ② ウ 金輸出解禁 エ 広田弘毅
- ③ ウ 金輸出禁止 エ 岡田啓介
- ④ ウ 金輸出禁止 エ 広田弘毅

問7 下線部㉔に関連して、大正時代に展開された社会運動に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 鈴木文治によって組織された労働組合期成会が、労働者の地位向上のため、労働組合の結成を呼びかけた。
- ② 賀川豊彦・杉山元治郎らが日本農民組合を組織し、小作条件などの改善を要求する小作争議を指導した。
- ③ 平塚らいてう・市川房枝らが新婦人協会を設立し、女性の社会的・政治的地位の向上を目指す運動を展開した。
- ④ 被差別部落の人々が差別からの解放を目指して、全国水平社を結成した。

問8 下線部㉕に関連して、満州事変の発端となった出来事を説明した文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 関東軍が南満州鉄道の線路を奉天郊外で爆破し、これを中国軍の行為と主張して軍事行動を起こした。
- ② 関東軍が奉天郊外で満州軍閥の張作霖を爆殺し、中国軍がこの報復として関東軍を攻撃した。
- ③ 北京郊外の盧溝橋付近で日本軍が銃撃を受けたことをきっかけに、日中両国軍が衝突した。
- ④ 上海で日本人僧侶が中国人に殺害されたことを受け、日本が中国に派兵した。

問 9 下線部⑧に関連して、次の写真は、1930年代の国家改造運動が活発化するなかで軍部が関与した事件を伝えた記事である。この事件に関して述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

36



- ① この事件によって、軍部政権の樹立を企図した桜会の橋本欣五郎が、首相と外相を暗殺した。
- ② この事件によって、円売り・ドル買いにより巨利を得た財閥の最高指導者も殺害された。
- ③ この事件によって、陸軍では皇道派が没落し、統制派が主導権を掌握することとなった。
- ④ この事件によって、加藤高明内閣以来、約8年間続いていた政党内閣が途絶することとなった。

◆ 写 真 提 供 等 ◆

2023年度一般入学試験前期日程(2月1日)【世界史B】

- 1) 「カーバ聖殿」 写真：アフロ
- 2) 「イマームのモスク」 写真：アフロ

2023年度一般入学試験前期日程(2月1日)【日本史B】

- 1) 「秋冬山水図(雪舟筆) 冬景」 ColBase